

海第十一号の作品について

海のホームページには、「ニュース」等のコラムを設け、海の作品に対していただいた批評や感想等の内容の要旨を掲載し、同人個々の参考になるようにしています。

第十一号（通巻第七十八号）の作品に対しお寄せいただいた感想等の一部（抄）を、左記に掲載させていただきます。
御意見等をいただいた各位（お名前は略）に、心から感謝申し上げます。

◇エッセイの部

上水敬由作品について

「チェスタトン」

・宗教についての日欧の違いの片鱗を伺わせ、面白い。

原千里作品について

「小学校英語教育の諸課題―教科化をめぐって―」

・同感。現段階での教科化には疑問です。

◇詩の部

笹原由理作品について

「追憶ほか」

・幻想性が短い言葉の中に凝縮され、イ

ンパクトがある。

・もし十行ぐらいいまで広げられるなら、世界がより深くなる気がする。

有森信二作品について

「ある野心ほか」

・考えさせられる詩です。

◇詩と画の部

鳥井まみ作品について

「話つ花（一）」

・諧謔の楽しさがあり、絵を添えることで相乗効果がある。言葉づかいを今一つ丁寧にしたら、よりよいのでは。

◇翻訳の部

牧草 泉作品について

・継続してほしい。表現もよい。

◇評論の部

原千里作品について

「廣瀬淡窓とその世界」

・淡窓の思想の域にまで踏み込んだ内容の展開を、今後期待する。

小山多由美作品について

「青木繁との旅（一）」

・今後の展開が楽しみ。唐津の風景や温もりが伝わる。

◇小説の部

高岡啓次郎作品について

「船底」「メッセージ」

・よく書けている。特に「船底」の細部の表現は、的確で臨場感があり、目線にブレがない。

牧草 泉作品について

「ある男の軌跡」「ある男の気がかり」

・哲学的暗喩とイメージに彩られた玄人向けの気の利いた作品である。

・心情はよく書けている。文学的センスのよさを感じる。

・前号の「百年のナグネ」の方がよい。

有森信二作品について

「溪流の眠りの中へ」「離陸」

・モチーフの整理、工夫がほしい。

・何を伝えたいのかを明瞭にすべき。

・「幽体離脱」などの扱いには、説得力を持たせるよう注意すべき。

◇海の全体について

・内容が多岐にわたり、活気と、やる気を感じる。

・高質の作品が揃っていると感した。

（有森まとめ）